

SCU (ソロチェアアンパイア) について

さいたま市中体連テニス専門委員会

基本的にはセルフジャッジで試合が行われ、アウト、イン、フォールト等のジャッジは選手が行います。SCUは審判台にのって、以下の仕事をします。

【SCU の主な4つの仕事】

①ポイントの管理 ②報告 ③レットのコール ④オーバーコール

①スコアカードに得点を記入していき、ポイント・ゲームのアナウンスを行う。

「30—40(サーティーフォーティー)」「ゲームカウント4—2(フォートゥー)」

②試合が終わったらスコアを確認して勝者サインをもらい、速やかに本部にスコアカードとともに報告する。

③隣のコートからボールが侵入したときに試合を止め、ポイントをやり直すレットはSCUがかける。選手は不可。

④明らかにセルフジャッジが間違っている場合は訂正できる。

コールは「コレクション ザ ボール ワズ グッド」

→誤ったコールをした選手の失点になる。

加えて…

●常に失点した選手の顔を見て、目が合ったらハンドシグナルを出し、判定が正しいことを伝える。

●「ネット」「スルー」「タッチ」「ノットアップ」「ファウルショット」「フットフォールト」をジャッジする。